

## AM(Dayzzz)

人間の脳には大きく分けて「覚醒」と「睡眠」という2つの状態があり、相互にバランスを取り合い、「目が覚める」「眠くなる」という生体リズムをつくっている。2018年5月、就寝中に「覚醒」と「睡眠」の間の状態を、録音機材により収録する試みが、石巻市にて行なわれた。2010年9月12日の収録後、2人のユニットとしての活動は、現在まで途絶えたこともあり、新たな制作の依頼は未知数であった。8年の空白期間を経て、見いだされることに注視した。睡眠時のいびきが特徴的なこともあり、まずは録音機材を石巻市在住の守雅章に、送付し睡眠時の音声を録音し、その音声ファイルを、東京都渋谷区在住の守喜章に、送付するよう依頼した。録音機材には、設定した音声起動レベルよりも、大きな音声を感知すると自動的に録音が始まり、音声が小さくなると自動的に録音を一時停止する機能がある。収録中の意識が混濁すると、収録の起動とその停止を彷徨い始め、まるで収録時間をスクラッチする、一つの独立した「索引」が垣間見えた。収録された音声をすり抜け、録音されない呼吸音があり、交錯する機械と生身の人間との関係を知った。自らの「覚醒」と「睡眠」の状態は、自らコントロール出来ない。録音機材には、就寝中の出来事が記録されているが、就寝中の全ての時間は記録されていない。収録された或る日の就寝時に、「覚醒」と「睡眠」が交錯する時間が2分47秒あった。収録時間が、実際は10分なのか30分なのか60分なのか。設定した音声起動レベルに感知された音声だけが、そこにはあった。2018年9月、東京都渋谷区在住の、守喜章の、日々の日常に伴う動作を、つぶさにそれぞれ収録した。目覚まし時計が鳴り、部屋の敷居にある引戸を開け閉め、起きがけに水（緑茶）を飲み、洗面所で蛇口を開け、歯を磨き、部屋の玄関ドアを開け閉め、階段を下りて、外出する。帰宅

時に入口のセキュリティドアを開け閉め、階段を上がり、部屋の玄関ドアを開け閉め、洗面所で蛇口を開け、うがいをする。その日々の日常に注視した。8年前の作品にあった、石巻と東京とに離れている間の共時性が、8年後に片割れの睡眠時の意識変容の経過と、片割れの日々の日常との接続にて明かされる。

## Blind Spots 2つの盲点

blind spot は盲点、死角という意味。死角、見えない場所のこと以外に、見落としがちな個所にも盲点という意味がある。フランスの物理学者エドム・マリオットが発見したマリオット盲点というのは、目に映らない場所を指し、視神経乳頭に位置するもののこと。視神経というのは目から伸びる神経であるが、この付け根の位置だけは映そうと思っても映らない。この位置にあるものは、両目でなら見ることが可能である。右目の盲点を左目が、左目の盲点を右目がそれぞれ補い合うからだ。つまり片目のときは見えないものも両目になると見える。盲点は無くなるというわけだ。視覚情報は、目の裏側の光受容体で捉えた光を、電気信号に変換し脳で処理して得られるが、光受容体は均一に存在するわけではなく、中央部に多く周縁部になるほど少なくなり、全く存在しない部分もある。この光受容体が存在しないために電気信号が得られない部分を盲点といい、人の視界には左右の目あわせて2箇所の盲点がある。